

桃陵中だより

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃
令和3年10月29日 11月号

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ
社会に貢献する 生徒を育む』

盛り上がった『体育祭』

10月13日(水)1,2限に3年 3,4限に2年 5,6限に1年の学年別『体育祭』を本校グラウンドにて開催しました。当該学年の保護者参観のもと、盛大なものとなりました。

	1年	2年	3年
優勝	1年3組	2年1,2組	3年2組
2位	1年2組	2年3組	3年4組
3位	1年1,4組	2年4組	3年3組

結果は右の表の通りですが、全学年のすべての競技で、みんなの精一杯の頑張りを見ることができました。特に色別リレーや学級対抗の全員リレーでは白熱する戦いが体育祭を盛り上げ、みんなの姿が見ている保護者や先生方に大きな感動を与えたと思います。この学校行事を通して、学級として“絆”が強められ、団結できたことと思います。また個人として“豊かな心”がまた一步成長したことと感じています。感染防止対策もしっかりとできました。まだ“コロナ禍”ではありますが、“実施できてよかった!”と素直に感じました。

『修学旅行』 晴れのち雨のち晴れ

3年生は、10月19日(火)から21日(木)の3日間の日程で、信州(白馬)への修学旅行を実施しました。

1日目は晴れました。長野県の「松本城」まで貸し切り観光バスで移動し、松本城の周辺で「班別研修」を行いました。手に地図をもち、班で相談しながら、お土産を買ったり、たい焼きやプリンを食べたりしている様子は楽しそうでおもしろいようでした。再びバスで長野県白馬のホテルに移動。その夜の「レクリエーション」は生徒が企画したコーナーも先生が企画したコーナーもよく準備され、盛り上がり、みんなを笑顔にしていました。



2日目は雨でした。長野県は標高も高く寒い1日でした。HAKUBA47で班対抗「チームウォークラリー」を行いました。ミッションに成功すれば得点し、合計得点を競います。ミッションは1つ1つ別で、例えば(目が不自由な人の体験として)目をつぶってボールを足でドリブルして、メンバーは声でサポートします。制限時間内にゴールに蹴り入れられたら得点です。みんなの目は輝いていました。そして、すべて終わったころには少し疲れていました。最後の閉会式でインストラクターの代表者からお褒めの言葉をいただきました。「失敗してもその失敗を責める人が1人もいない。それもすべてのチームです。こんな生徒たちを見たことはありません。素晴らしいチームですね。」と。それを聞いて、生徒のみなさんより先生の方がうれしそうでした。私(校長)が一番うれしく感じていたかもしれません。感動して泣きそうになってしまいました。

3日目は晴れました。「長島スパーランド」は人も少なく、昨日の悪天候を吹き飛ばすかのように発散しました。この修学旅行を通して、友達や先生との“絆”がさらに強くしっかりとしたものとなったと思います。さあ、次は“進路実現だ!”

※裏面に「桃陵中学校 11月行事予定」を載せています。